

右下図のような形状の屋内用パワーコンディショナ(JH-40F)の場合

★日照があるときに操作してください。 自立運転に切り替えるとき

自立運転

本インバータには自立運転機能がありますので、商用電力停電中でも専用コンセントからAC100Vを取り出すことができます。

ご注意

自立運転時は、接続された電気機器の消費電力が表示されます。接続された電気機器をご使用にならない場合は、出力表示は0Wになります。

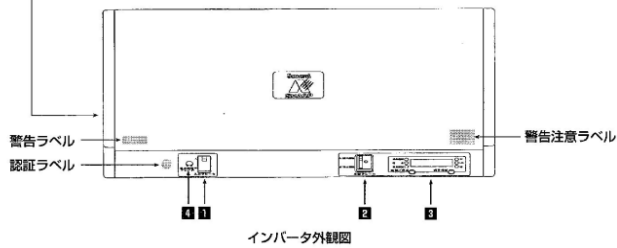
操作のしかた

- インバータを自立運転モードで運転するには、**系統ブレーカ**を「切」に、**入力ブレーカ**を「入」にします。
- インバータの**表示パネル**に「SOP」と表示され、**停止ランプ**が点灯します。
- 運転/停止スイッチ**を押すと、**自立運転ランプ**が点滅し、**表示パネル**に「JH40F」と表示されます。
- 自立運転専用コンセントに接続された機器の消費電力よりも、インバータの出力可能電力が大きければ、インバータは、自立運転を開始し、**表示パネル**には負荷への供給電力が表示されます。
- 自立運転専用コンセントに接続された機器の消費電力が大きすぎる場合や、曇りや雨などで日照が低下したときはインバータは自立運転を一旦停止し、10秒後に再び運転を開始します。もし、日照が回復しなかったり、機器の消費電力がなお大きすぎる場合は、インバータは再び運転を停止し、運転/停止を繰り返します。(このとき、**表示パネル**に「P-42」、「P-PU」や「E-32」と表示されますが、故障ではありません。)
- 自立運転中に日照を迎えると、インバータは自動的に停止します。(このとき、**表示パネル**に「P-42」や「SLEEP」と表示されますが、故障ではありません。)
- 翌朝、太陽電池の出力が増加すると、インバータは自動的に電源が入りますが、**表示パネル**には「SOP」と表示され、**停止ランプ**が点灯します。
- 自立運転を再開するには、**運転/停止スイッチ**を押します。
- 表示パネル**には、「JH40F」と表示され、**自立運転ランプ**が点滅します。
- 自立運転ランプ**が点灯し、自立運転を開始します。
- 自立運転を停止するには、**運転/停止スイッチ**を押します。インバータの**表示パネル**に「SOP」と表示され、**停止ランプ**が点灯します。

ご注意

自立運転ブレーカについて
太陽が出ているにもかかわらず、インバータの表示部の**自立運転ランプ**が点灯し0Wと表示され、自立運転専用コンセントに接続された電気機器を、ご使用にならない場合は**自立運転ブレーカ**の状態を確認してください。
自立運転ブレーカが前方に飛び出した状態になっている場合は、一旦**運転/停止スイッチ**を押して、自立運転を停止してください。停止された後、自立運転専用コンセントに接続されている電気機器を減らし、**自立運転ブレーカ**を奥へ押し込んでから**運転/停止スイッチ**を押して、自立運転を再開してください。

製造番号ラベル



停電が回復し、連系運転に戻るとき

停電が回復したとき

連系運転状態で、停電が回復した場合は、自動的に連系運転を開始します。自立運転状態で停電が回復した場合、次の方法で自立運転から連系運転に切り替えることができます。

ご注意

自立運転専用コンセントについて
自立運転時には、自立運転専用コンセントを使用して電気機器をお使いいただくことができますが、連系運転に切り替えますと、自立運転専用コンセントは、使用できません。連系運転へ切り替える際には、自立運転専用コンセントに接続して使用している電気機器を止めた後に行ってください。

操作のしかた

- 系統ブレーカ**を「入」にします。
- 表示パネル**に「SOP」と表示され、**停止ランプ**が点灯します。
- 運転/停止スイッチ**を押します。
- 商用電力が停電中に自立運転に切り替えていた場合は、復電タイマーが動作し、**表示パネル**には待ち時間が表示され、**連系運転ランプ**が点滅します。
- 待ち時間が0になり、インバータの運転条件が整っていれば連系運転を開始します。

上図の表示内容は、電力会社との協議内容により、異なる場合があります。